

第1学年国語科学習指導案

日時 平成28年11月16日(水)14:10～15:00
場所 北舎1階 1年B組教室
授業者 下野 夢理香

1 単元「いにしへの心に触れる」について

本単元ではさまざまな言語作品に触れる中で、現代にまで生き続けてきた伝統的なものの見方や考え方があることを知り、古典の価値や現代とのつながりについて自分の考えをもたせたい。

そこで、「蓬萊の玉の枝」では、「竹取物語」のおよその全体像をつかみ、登場人物の心情の読み取りを行う。小学校で古典文学の音読を行ってきたので、中学校では、登場人物の気持ちや考え方に着目させ、古典教材に親しませたい。

学習を進めるにあたっては次の点に留意し、生徒の関心意欲を引き出す。

- ・図版や現代語訳を手がかりにして内容をとらえることで、物語の面白さを感じることができるようにする。
- ・古文と現代語訳を対応させて繰り返し音読することで、歴史的仮名遣いや文語に抵抗がなくなるようにする。
- ・現代と比べながら登場人物の心情や行動をとらえ、自分の考えをもたせる。

こうした学習活動により、古典文学に抵抗感を抱くことなく、登場人物の心情を読み取ったり、自分の感じ方や考え方と比較しながら読んだりすることができる生徒を育成したい。

2 生徒の実態

生徒は、登場人物の心情を読み取り、全体交流の場で活発に意見交流をすることができる。しかし、根拠となる表現を挙げて説明をしたり、仲間の意見と自分の意見を比べたりすることが苦手な傾向がある。

レディネステストの結果から、「古典的な文学は難しい。」と感じている生徒が89%と多いことが分かった。その理由として以下の2つが生徒から挙げられた。

- ・歴史的仮名遣いや言葉が難しい。
- ・昔の人の考え方・感じ方が分からない。

このことから、現代の言葉と違う言葉に対して抵抗感があり、今よりずっと昔に生きた人々の思いや考え方を想像することが難しいと感じている生徒が多いことが分かった。

そこで、古文と現代語訳を対応させ音読をすることで、歴史的仮名遣いや、文語について抵抗感を無くしたい。また、心情を読み取ることで、「昔の人」と「現代の人」のもの見方や感じ方にはそれほど大きな差がないこと、古典には現代に通じる日本人の考え方・感じ方が描かれていることに気付かせたい。

3 研究内容と本時との関連

(1) 研究内容 について

本時は、くらもちの皇子が蓬萊の玉の枝についてわざわざ「いとわろかりしかども」と言った理由を考え、班で交流する時間である。そこで双方向の表現活動を生み出すために以下のような学習活動を考えた。

くらもちの皇子が「いとわろかりしかども」と言った理由について、自分の考えを説明する。

くらもちの皇子の考えについて、他の班の意見と比べながら聞き、意見をつなぎながら発表する。くらもちの皇子の気持ちや考え方について現代と通じるものがあるか考える。

特に において、いくつもある策略の中から、

「いとわろかりしかども」に絞ったことで、自分の意見をもった上で話し合いをすることで、似た意見や異なる意見を言いやすくすることができる。意見の違った班員から優先的に意見を話すようにすることで、意見の違いを見つけたり、認め合ったりすることが出来るようにしたい。

(2) 研究内容 について

本単元では、現代に通じる登場人物の気持ちや、もの見方・考え方についてとらえ、毎時間のまとめに書く活動を設ける。「昔の人」と「現代の人」の気持ちや考えについて学んだことや、分かったことについてまとめ、仲間から学んだことを書くことで、自分の考えを深めることができた実感させ、自己肯定感の向上を図る。

4 人権教育の観点から

実態調査から、古典の文章を読むことに難しさを感じており、「昔の人」と「現代の人」では考え方が違うのではないかと考える生徒がいることが分かった。そこで、人権教育の三つの力のうち、本時育みたい力を「言語を手掛かりに登場人物や筆者の気持ち（考え）を豊かに想像する力（自己啓発力）」とし、くらもちの皇子の場面を読み取り、くらもちの皇子の思いや考えを想像できるようにしたい。

5 単元指導計画

単元入口の生徒の意識

書かれている言葉も違うし、昔の人は現代の人と考え方が違うのではないかな。古文を楽しく読むにはどうすればよいのかな。

教材	時数	課題と生徒の意識
いろは歌	1	<p>いろは歌を音読して、言葉やリズムの特徴を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代とは違う言葉の書き表し方があったことがわかった。歴史的仮名遣いに気をつけてすらすら音読できるようになりたい。
	2	<p>月を見上げて、人々は何を感じてきたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 月を綺麗だと感じたり、月に神秘的な思いをもったり、月を見て楽しむ風習は、昔から現代に続いていることなんだ。ほかにも昔から今に続く風習や、考えはないかな。
蓬萊の玉の枝	3	<p>さまざまな古典作品から古典の面白さを感じよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の作品には、事実を元に面白い物語が作られていたり、教訓が語られていたりして、現代に通じる思いや考え方のものもあるんだな。蓬萊の玉の枝ではどうだろう。
	4	<p>本文を読んで、竹取物語のあらすじをつかもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> かぐや姫と竹取物語では、書かれている内容に違いがあるんだな。かぐや姫の生い立ちや、5人の貴公子の話を詳しく知ったら面白そう。
	5	<p>かぐや姫が月の都の人らしいところはどこだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月で成人するところや、とても美しくて光が輝いているところは月の都の人らしい。
	6	<p>くらもちの皇子はどんな冒険談を話したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実には存在しない架空の場所をきらびやかな様子で語ったり、天人の服装をした女性を登場させたりして、本当に行ったかのような冒険談を語った。
	7 本時	<p>くらもちの皇子は何故、「いとわろかりしかども」と言ったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓬萊の玉の枝をうまく作れなくても、かぐや姫と結婚するために、かぐや姫の行っていたものをもって来たと言った。嘘をついても好きな人に気に入られたいという思いは現代にも通じていると思う。
	8	<p>帝は、なぜかぐや姫からもらった薬を燃やしてしまったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな人がいない世界で長生きしてもしょうがないという思いがあった。好きな人と一緒にすごしたいという思いは現代でも同じだと思う。
	9	<p>登場人物の気持ちを読み取り、現代に生きる私たちの気持ちと比べてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 竹取の翁がかぐや姫を大切に育てることや、綺麗な人と結婚したいというような思いは現代と同じだと思う。私も、家族が大切だし、家族とずっと仲良く過ごしたいと思う。
今に	10	<p>矛盾という言葉ができた背景を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今でも使われることわざや故事成語は、何年も昔に作られたものだということがわかった。

1 1	<p>故事成語のエピソードを調べて、班で交流しよう。</p> <p>・自分が知っていることわざや故事成語のエピソードにはこんなに面白いものもあるんだな。</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------

6 本時の目標

「いとわろかりしかども」とわざわざ言ったくらもちの皇子の思いや考えを想像することを通して、くらもちの皇子の場面を楽しんで読み、くらもちの皇子の思いや考え方を身近に感じることができる。

7 本時の展開 (6 / 1 1)

段階	学習活動	研究内容 (,) 人権教育の観点
つかむ	<p>1 前時の内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらもち皇子の場面について音読する。 ・3年も人目につかないところにいたこと。 ・女性と会話した様子をいれたこと。 ・「いとわろかりしかども」と言ったこと。 <p>2 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>くらもちの皇子は何故、「いとわろかりしかども」と言ったのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前後の解説文も音読を行い、本時読み取るくらもちの皇子の策略を確認させる。 ・古文を繰り返し音読したり、現代語訳と古文を交互に読んだりする。 くらもちの皇子の策略から、本時考えたいことを絞り1つにすることで、くらもちの皇子の思いや考えを捉えやすくする。(研究)
深める	<p>3 一人読みをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓬莱の玉の枝だけは、正直に見たままを語った。 ・姫が持ってきてほしいと言ったからどんなに悪い出来のものでも持ってきた。 ・綺麗に作れなかった言い訳をした。 ・蓬莱山の様子をより本当のことに思わせるために綺麗なものと悪いものの差をつけた。 ・出来悪いものを作ったのは皇子の策略で、蓬莱山の様子と対比させることで、うそを本当のように感じさせた。 <p>4 「いとわろかりしかども」について班交流をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A : なぜ、「見劣りする」と言ったのかな？ B : 綺麗に作れなかったんじゃないかな。 A : なるほど。でも、正直すぎないかな？ B : そうだね。他の木や川や橋は綺麗なのにね。Cさんはどう考えてる？ C : きっと、綺麗なものがあつたけど、「本物だからわざわざこんなに良くない枝を持ってきたのですよ。」と言って信じ込ませようとしているのかもと思ったよ。 A : なるほど。綺麗に作れなかったことも上手くいって姫を信じ込ませたんだ。すごい嘘をつくんだね。くらもちの皇子は必死だったんだね。</p> </div> <p>5 全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの班では、くらもちの皇子は蓬莱の玉の枝を上手く作れなかったいいわりに、間違いなくかぐや姫が欲しいと言っていた物を持ってきましたよという思いで「いとわろかりしかども」と言ったのだと考えました。 ・他の班とは違って、蓬莱山の様子を本当のことによ 	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい景色と蓬莱の玉の枝の評価の差に着目させる。綺麗なものだけでなく、悪いものを取り上げて話すことは、くらもちの皇子に何か思惑があるのではないが気付かせる。 ・かぐや姫も言い返しができず信じるしかなかった記述が「竹取物語」にあることを教える。しかし、蓬莱の玉の枝をわざわざ「見劣りする」と言ったのは何故か考えさせる。 <p>1人目が意見を言った後に班員全員に反応・意思表示をさせ、似た意見か、違う意見なのかを班員に伝えられるようにする。違う意見をもつ生徒を優先に話させる。(研究)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習活動4において、くらもちの皇子が「いとわろかりしかども」と言った理由について班交流をする。生活班で交流させ意見を聞き合うことでお互いに考えがより深まるようにした。 くらもちの皇子の行動や思いが現代の人々と似た行動や思いであることに気付かせ、くらもちの皇子を身近に感じることができるようになる。 (自己啓発力)</p> </div> <p>根拠や、理由を挙げながら班で話し合った意見を発表する。意見の違いを板書に書き出し、違いや似ている点に気付ける様にする。(研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くらもちの皇子が「現代の人」と似てい

単元出口の生徒の意識

言葉の意味が違うことがあるけれど、昔の人も現代の人も人を思う気持ちや、ものの見方・考え方に大きな違いはないことが分かった。古典から今に通じる気持ちや考え、行事についてもっと読んでみた

ま と め る	<p>6 学習のまとめを書き，発表する。</p> <p>班交流のCさんの意見から，くらもちの皇子が「いとわろかりしかども」と言ったのは，蓬萊の玉の枝を上手く作れなかったからだと考えました。上手く出来なかったことまで利用してかぐや姫に嘘を信じ込ませようと思い，綺麗な蓬萊の山の描写のあとに見劣りするという言葉を入れていいわけをしたのだと思います。</p> <p>嘘についても好きな人に気に入られたいという思いは，今も昔も同じだと思いました。</p>	<p>生徒の名前を挙げて仲間から学んだことを書き，自分の考えが深まったり，ひろがったりしたことを実感できるようにする。（研究）</p> <p>評価規準（読む ウ）</p> <p>くらもちの皇子が「いとわろかりしかども」と言った理由を考え書きまとめている。</p>
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------